

# 議会だより

平成28年4月臨時・6月定例会版



**現場の声を議会へ**  
文教福祉委員会が現地調査



文教福祉委員会は5月20日、旧昭和児童館(美袋)で活動する「あそびのきち おひさま」と市図書館(中央三丁目)を現地調査しました。

「あそびのきち おひさま」では委員が、自由な雰囲気の中で子どもたちが異年齢の仲間と遊ぶことができる温かい居場所作りに努めている活動などを確認し、スタッフと意見交換を行いました。(写真上段)

また、リニューアルした市図書館では、館長から一般書開架室の拡充内容や、エレベータの設置により利用しやすくなった3階展示ホールについて説明を受け、状況を確認しました。(写真下段左・右)

主な内容

4月臨時・6月定例会市議会	2ページ
議員研修会開催	4ページ
6月定例会市議会一般質問	5ページ
委員会活動報告	11ページ
政務活動費の公表	15ページ

## 三菱自工関連企業支援策を可決

商店街での「宮筋ものがたり」開催も

### 4月臨時市議会

ふるさと納税の返礼品拡充の経費など補正予算ほか可決

4月28日、臨時市議会を開き、平成28年度一般会計補正予算(第1号)として、ふるさと納税の返礼品を拡充するための費用7億2千万円、ふるさと納税寄附金12億円、差額収入4億5470万円を基金として積み立てる経費など歳入歳出合計11億9590万円を全会一致で可決しました。また、新総社市一般廃棄物最終処分場の造成工事工法変更による契約額増額(2352万7347円増)に伴う変更契約の締結を可決しました。

### 6月定例会市議会

6月定例会市議会を6月2日から24日までの23日間の会期

で開き、報告2件、議案7件(左ページののとおり)、陳情1件の審査をしました。

### 平成28年度一般会計補正予算(第2号)初日に先議採決

三菱自工の燃費不正問題で影響を受けた関連企業や雇業者への支援を行うため、中小企業保証融資保証料補給金760万円、中小企業融資保証料等補助金285万円、緊急雇用維持助成金8100万円、労働者緊急支援助成金750万円、勤労者融資利子補給金75万円など合計1億円、その財源を財政調整基金から繰り入れるもので、全会一致で可決しました。市長は、取り崩す財政調整基金について「三菱自工の燃費不正問題に端を発しているので、市が同社に寄附をお願いして補てんする。成就しな

かったら、別の企業寄附を募ったり、ふるさと納税で得た収益を充当したりし、可能な限り市民の税金を使わないよう努力する」と説明していましたが、最終日に、「早期に操業再開の予定となり、吉備信用金庫からの寄附金300万円で購入する支援策となる見込み」と報告しました。

### 高齢者雇用のワンストップ窓口設置経費の補正予算も可決

補正予算(第3号及び追加提案された第4号)では、生涯現役社会の実現に向けて、高齢者向けの雇用に係るワンストップ窓口の設置や働く意欲の醸成のための研修会等を開催する経費1024万1千円、B型肝炎予防接種について、平成28年10月から定期となる1歳未満児以外の1歳から4歳未満児までの接種費用の一部を助成する経費540万円、文部科学省が取り組む「首長部局との協働による新たな学校モデルの構築」につ

いて、本市で実施している英語教育推進を活用した事業を行うもの111万2千円、平成26年に終了した「れとろーど」に替わる新たなイベント「宮筋ものがたり」を開催する実行委員会への負担金100万円などが主なもので、それぞれ全会一致で可決、一般会計総額は285億4590万円となりました。

### 「雪舟くん」のお盆運休、市営住宅の除却等、条例を一部改正

新生活交通「雪舟くん」について、毎年8月13日から15日までのお盆期間中は運休するための条例改正、また、市営天原住宅のうち老朽化して近隣に影響を及ぼす住宅8戸を除却するための条例改正をそれぞれ全会一致で可決しました。

### ○平成27年陳情第1号「農用地の不正事務及び本件該当隣地への排水妨害事件」

関連事案が裁判で係争中であるため継続審査となりました。

### 平成28年4月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
報告第1号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※市道の管理瑕疵に係る和解及び損害を賠償すること	報告を受けた
報告第2号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※市道の管理瑕疵に係る和解及び損害を賠償すること	報告を受けた
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度総社市一般会計補正予算(第7号))	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例等の一部改正)	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(総社市都市計画税条例の一部改正)	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(総社市国民健康保険税条例の一部改正)	承認
議案第52号	工事請負契約締結の変更について ※新総社市一般廃棄物最終処分場造成工事	原案可決
議案第53号	平成28年度総社市一般会計補正予算(第1号)	原案可決

### 平成28年6月定例会総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
議案第54号	平成28年度総社市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
報告第3号	繰越明許費について(平成27年度総社市一般会計予算)	報告を受けた
報告第4号	繰越明許費について(平成27年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算)	報告を受けた
議案第55号	総社市税条例の一部改正について	原案可決
議案第56号	総社市新生活交通の運行に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第57号	総社市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第58号	総社市営住宅条例の一部改正について	原案可決
議案第59号	平成28年度総社市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第60号	平成28年度総社市一般会計補正予算(第4号)	原案可決

日時	内容
9月5日(月)	開会
9月9日(金)	一般質問
9月12日(月)	一般質問
9月13日(火)	一般質問
9月14日(水)	質疑
9月15日(木)	委員会
9月16日(金)	委員会
9月20日(火)	委員会
9月29日(木)	閉会

9月定例会市議会の予定

問い合わせ 議会事務局 Tel.92-8332

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。各月の執行状況については、議会事務局及び市議会のホームページ(<http://www.gikai.city.soja.okayama.jp/>)でご覧になれます。

[平成28年4~6月分]

支出区分	支払年月日	支出金額	支出先等
お供	4/25	10,000	井原市長の実母香典
	6/1	10,000	市職員香典
お祝	4/2	30,000	姉妹都市長野県茅野市御柱祭
激励金	4/22	10,000	第63回岡山県消防操法訓練大会
土産等	4/1	9,720	姉妹都市長野県茅野市訪問
	5/8	6,210	行政視察先(総務生活委員会)
議長賞	6/19	5,400	第70回全日本アマ将棋名人戦、一般将棋総社地区大会
合計		81,330	
4月からの累計	-	81,330	-

議長交際費執行状況

監査機能・政策提案を果たす一般質問を  
質問力向上のため議員研修会を開催

3月28日、「質問力を高め、議会力に活かす」をテーマに、議員研修会を開催しました。基調講演は、龍谷大学政策学部教授の土山希美枝先生。その後、議員と講師の間で意見交換を行いました。

《基調講演の概要》

一般質問は、議員が自らの活動と知見を集約し、市の政策について問題点を論じ提案



議場で基調講演を行う土山希美枝教授

できる重要な機会です。一般質問の仕組みの中には、議員が本来果たすべき政策提案や監査機能を有しています。その質問はまちを良くするか中には、残念な質問も見受けられます。例えば、

- ① 公表数字を確認するだけ
- ② 論点を入れ過ぎ
- ③ 個別的過ぎる
- ④ 根拠や論拠のない批判

は、一般質問の機能を果たしていると言えません。

良い質問を行うには、「論点の具体化」、「情報収集」、「質問の事後」の3点が重要です。「論点の具体化」のためには、その質問でまちが良くなるのか、何を問いたいのかを明確化する必要があります。また、市政運営や事業の法制度の遵法性、判断の適切性などを確認することも求め

議員と講師の意見交換

研修後半では、一般質問や議会活動について、ワークショップ形式で意見交換を行いました。主な内容は次のとおりです。

- 問 一般質問では、監査より政策提案が分かりやすいのではないかと。
- 講師 きちんと監査していないと政策提案も受け入れられない。やはり監査がベースである。
- 問 今は実現不可能な事業を、将来的には実現してほしい場合の質問はどうか。
- 講師 その事業がないことで、まちの中に現在、どのような影響が生じているか説明するべきである。
- 問 財政的に事務事業を実現できないという答弁を切り崩す方法はどうか。
- 講師 実現するにはどんなプロセスがあるか、その一歩をどうやったら進められるのか、戦略が必要である。
- 問 個人や地域のテーマはおねだり型になりやすい。市全体のテーマにするにはどうしたら良いか。
- 講師 まちの課題として共有してほしいということであれば、提起しても良い。
- 問 重要問題は何人でも同じ質問をした方が、当局の認識を深めると思うがどうか。
- 講師 多くの議員が、調整を取りながら戦略的に質問をすると、一定の政治的な力を発揮することができる。

問題共有と双方納得の質問に

つまり、良い一般質問とは、「問題点が明確で、その論点提起に納得させられるか、必要な情報が入っているか、政策提案が具体的か、我がまちの状況を反映しているか、聞いて分かりやすいか」といったことを包含したものと云えます。一般質問の議論を通じて、問題を共有し、双方が納得にたどりつく「議論の対話」があるべき形だと思えます。

小西利一



問 三菱自工関連企業支援策の事前発表は議会軽視では

答 深くお詫びし、今後は議会とともに協議していく

問 三菱自工関連支援策について、財源は三菱自工本社からの寄附を充てると言っていたが、一般財源からの支出になつたのはなぜか。

市長 今回の問題は三菱自工の不正が原因であるので、三菱自工本社へ行き、1億円の寄附をお願いしたが、顧客への対応が優先され、すぐには寄附がいただけなかった。当面はふるさと納税や地元企業の寄附で対応していく。

新総社大橋開通について

問 県道に格上げしてもらう予定はどうか。

市長 毎年、県道に格上げしてもらおうよう要望をしている。今後も要望していく。ただし、県道格上げには条件があるので、難しい課題である。



真備、船穂への接続が期待される清音神在本線

問 倉敷市と協議して、本来の循環線としての役割を果たす橋になるようにしてはどうか。

市長 今後も関係自治体と協議し、循環線の役割を持つよう努力していく。

問 神在小学校の通学路に信号が必要と思うがどうか。

市長 早急に設置してもらうよう県警に強く要望している。

村木理英



問 中心市街地空洞化の対策はどうか

答 建築基準法第42条第2項・非該当道路の調査を始める

問 中心市街地が空洞化している認識はあるか。

市長 ある。

問 中心市街地空洞化は、本市にどのような影響があるか。

市長 賑わいがなくなる。そして、税収も減る。

問 中心市街地空洞化は、道路改善により解消の可能性はあるか。

市長 あると思う。

問 区画整理の考えはどうか。

市長 多額の予算を伴うが、必要性を感じている。

問 第2次総合計画、都市計画マスタープランを実現するために、100年の計としてセットバックで道をつくり、街をつくる考えはどうか。

市長 みんなで街をつくる考え方は理解できる。



道路の拡幅により再生が望まれる中心市街地

問 都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の検討等、本市独自の制度、条例の考えはどうか。

市長 建築基準法第42条第2項・非該当道路について調査をする。

三宅 啓介



問 総社西・東中の通学区の弾力化をもっとすべきでは

答 弾力化の基準緩和を進めて周知していく

問 幼・小・中の通学区が、実状とそぐわない地域があるがどう思うか。

教育長 そのように思う。特に、総社小学校学区で、総社西・総社東中学校が分かれる市中央部は、非常に複雑だ。学区の状況も、設定当時と大きく変わってきていると考える。学区の線引き変更は地域のつながりも関わることなので、弾力化を進めて対応したいと考える。

問 学区の見直しは、最近では、いつ、どのような手順で行われたか。

教育長 平成18年に通学区区域設定審議会が設けられ、平成20年1月に答申が出された。その結果、学区の見直しではなく、通学区区域基準の大幅な



小中学校の通学区区域が複雑に入り組んでいる市中央部

弾力化が行われた。

災害対応に関して

問 熊本地震の益城町での支援で、本市として何を学び、今後何をしていかせるか。

市長 災害後の避難所運営の重要性を学んだ。被災時の行政窓口は混乱しており、被災直後の行政対応の職員体制を考えていきたい。

高谷 幸男



問 耐震補強ができていない市役所はいつ建設するのか

答 給食センター、総社小学校校舎の建設後、建設したい

問 過去に実施した市役所の耐震診断の結果はどうか。また、今後の対応をどのように考えているか。

市長 診断結果は耐震強度が不足していた。今後、補強するよりは建て替えを考えた。

問 岡山県は大規模災害に備え国土強靱化計画を策定した。この計画をどのように思うか。

総務部長 今年度、本市も業務継続計画を策定することとして

問 平成17年3月22日、1市2村が合併した。合併後の事業に充てた合併特例債の借入れ可能な期限が残り4年と迫っている。その考え方と元利償還金に伴う地方交付税措置をどのように考えるか。

市長 元利償還金の7割が地方交付税の基準財政需要額へ算入される大変有利な起債であるが、あくまでも借金であり、今後十分考えたい。

問 今後、市役所を建設する場合、色々と課題があると思うが、どのような方法が最良と考えるか。

市長 市役所を建設する方法は色々あると思うが、給食センター、総社小学校校舎の建設が終了後、9年後を目途に建設したい。

萱野 哲也



問 種子島口ケットマラソンは公務で走ったのか

答 南種子町との交流のために走った

問 東京都議会でも大変問題になっているが、市長の出張に何か基準でもあるのか。

政策監 基準は特にはない。

問 市長は昨年、種子島口ケットマラソンに私費で参加しているのに、今年は公費で参加しているがなぜか。

市長 鹿児島県南種子町とは赤米を通じた交流を行っており、体を張ってフルマラソンを走った。

問 体を張って走った効果は、本市にどのような影響があるのか。

市長 赤米交流が市民に大きな夢を与えてくれる。総社中学校の不祥事について 4月に市費の非常勤講師が逮捕された。県教委への報告が遅れたと聞いているが、

なぜか。

教育長 すぐに報告すればよかった。反省点である。

問 人事、採用にあたって問題はなかったのか。

教育長 関係者へのヒヤリングや本人の面接などで、問題はなかった。

問 責任の取り方として、教育長自らの給料の減額などは検討しないのか。

教育長 再発防止に対策を講ずる。給料減額だけが対策ではない。

津神 謙太郎



問 総社東キッズクラブから増築要望があるがどうか

答 今後、動向を考えながら内部で検討したい

問 国の指針では、小学1年生から6年生までが放課後児童クラブの対象になっている。施設が足りていないがどうか。

教育長 放課後児童クラブと放課後子ども教室の両方がある。保育と教育では担当が違うが、両方の良さを考えて内部で検討していきたい。

問 グランドデザイン改革の考えはどうか

問 総社市は農地転用許可権限の指定市になったが、今までの違いは何か。

市長 4ヘクタール以上の農地転用については、3月までは県を通じて国に申請を行い、許可を得ていた。これからは、市と国で協議し、市の権限で許可を行う。

問 新聞報道では、服部駅及



増築が望まれる総社東キッズクラブ

教育行政はどうか

問 特区以外の教育はどう考えているのか。

教育長 英語教育の推進計画書を作成した。また、中学の英語・数学教師が小学校でも教えることで、小学校教師のスキルアップを図り、児童の学力を上げていきたい。



岡崎 亨一

**問** AEDの24時間対応の検討はどうか

**答** 24時間営業の事業所へ設置の働きかけを行う

**問** 普通救命講習の受講者の状況はどうか。

**消防長** 平成27年は16回開催して420人の実績で、講習開始以来、4491人が受講している。

**問** AEDマップの検討はどのようになっているか。

**消防長** 市ホームページからもAEDマップに入ることができる。公共施設で67施設が掲載されている。

**市長** 広報紙などでもAEDマップ掲載を行う。

**認知症徘徊者対策について**

**問** S(そうじゃ)O(おかしり)S(サポート)システムの内容と周知徹底はどうか。

**保健福祉部長** 認知症高齢者の行方不明をメールマガジンにより早期発見、早期保護に



西森 頼夫

**問** 土・日の市長の公務に秘書も同行させているのか

**答** 土・日・祝日は休ませている

**問** 市長の秘書室の職員は時間外勤務が非常に多い。市長の私用出張に秘書を同行させているのか。

**市長** 公務出張以外の私用の出張には、秘書を同行させていない。

**問** 土・日の公務にも通常の体制で秘書を同行させているのか。監査委員会が平成24年と平成25年に連続して、秘書の時間外勤務が月80時間から100時間を超える場合もある異常な実態を指摘し、その改善を指摘しているが、改善されていない。その理由は何か。

**市長** 4月から、土・日・祝日は休ませている。本人の希望による出勤以外では出勤しなくてよいことにした。

**嘱託職員の待遇改善**

**問** 今年から再任用制度を取り入れた。60歳以下の嘱託職員と再任用の職員との待遇の違いは何か。

**総務部長** 嘱託職員は、再任用職員に比べ、期末手当、諸手当が低い。

**問** 勤務日数に差はないか。交通費はどうか。

**総務部長** 勤務日数は同じだが、嘱託職員には交通費がない。

**問** 再任用制度の活用は今年始めたばかりで、今後の制度改善が求められるが、いかがか。

**総務部長** 制度改善が必要なものは改善する。



片岡 茂夫

**問** 公民館展示用パネルが不足している。補充の考えは

**答** 数年かけて東公民館に補充したい

**問** 東公民館阿曾分館での文化祭などで作品展示用パネルが不足しているため、遠くの公民館に借りに行っている。東公民館にパネルを増やせないか。

**教育長** 東公民館にパネルが12枚あるが、これでは少ないと思う。破損、老朽化も進んでおり、補充を考えている。

**問** いつ頃補充できるか。また、今年は幾らか補充を考えているか。

**教育長** 今年は中央公民館などで調整して遠くへ借りに行かなくてもよくなるように考えたい。予算のこともあり、一度に必要な枚数は用意できない。他の備品などと併せて数年かけて用意する。

**問** 旧阿曾分館の建物、土地



今後の利用計画が未定となっている旧阿曾分館



文化祭での活発な展示(阿曾分館)

**問** の利用計画はどうか。

**市長** 新分館ができて6年目になる。今すぐに、といった計画はない。地域の人たちと相談しながら方向を決めていきたい。

**市長** 150人ほどが休職中である。支援策の1つに代替雇用への助成がある。40社が名乗りをあげ、574人の受入れが見込まれている。

**市長** 先行き不透明だが、しっかり頑張っていく。

難波 正吾

**問** 責任は三菱重工に果たさせるべきだがどうか

**答** 今後、粘り強く求めていきたい

**問** 三菱重工燃費不正事件は、市内はもとより県内の雇用と経済に深刻な影響をもたらしている。私も実態調査を行っている。私も実態調査を行った。売上減少で、自らの年金を従業員に当てる零細業者の社長もいた。また、「5月はもつが、それ以降は資金的にも見通せない」という下請けの企業もあった。直近の実態はどうか。

**市長** 三菱重工再生のためにも1億円の財源は三菱重工に求めるべきだがどうか。

**市長** 既に2回三菱重工幹部と面談した。私も、市民の税金を使うのはいかがなものかという考えで、三菱重工に企業版ふるさと納税寄附金を粘り強く求めていきたい。

**問** 共産党議員団として、国県に対して、三菱重工の不正行為を問責し、下請企業への損害補償、雇用調整助成金の要件緩和を要請し、解決を求めた。さらに三菱重工本社に出向き、自らが真相解明をする体質改善と再発防止を強く求めた。市長の今後の決意はどうか。



小西 義巳

**問** 秦地区内に雨水排水路を整備したいがどうか

**答** 来年度に設計を行い、県国へ要望していきたい

**問** 集中豪雨時の秦地区内の現状をどう認識しているのか。

**市長** 増水に対するシミュレーションを市全体で準備し、計画していきたい。

**問** サントピア岡山総社入口付近の水没をどう思うか。

**市長** ポンプアップによる高梁川への直接放流も含め、最終的な解決策を考えていきたい。

**問** サントピア岡山総社への避難経路はどうなるのか。

**建設部長** 水没する前に避難してほしい。避難経路については山際の道路を利用し、具体的には秦の自主防災組織と相談しながら考えていきたい。

**問** サントピア岡山総社入口付近の増水対策はどうするか。



大雨により冠水する秦地区内

**市長** 反省の上になつて、地元と相談しながら、前向きに考えていきたい。

**問** 秦浄化センターが水没した場合の処理、対策はどうするか。

**市長** コンクリート塀の設置を対策の一つとして検討する。

深見 昌宏

**問** 中心市街地の問題についてどう考えるか

**答** グランドデザイン改革会議で2年以内に考える

**問** 中心市街地の空き家の現状はどうか。

**市長** 総社一丁目から総社三丁目までの区域に、空き家が114軒あり、活用可能な空き家が71軒、活用可能な空き家が43軒である。43軒の地区別内訳は、総社一丁目に12軒、総社二丁目に21軒、総社三丁目に10軒となっている。

**問** 空き地の現状把握はできているか。

**市長** 大きな土地の把握はできているが、点在する空き地については把握できていない。

**問** 雇用が増えてきている中、今後の空き家、空き地の活用はどう考えるか。

**市長** 空き家に関しては窓口を一元化して、問い合わせに対応していきたい。また、立

地適正化計画の中で2年以内に考えていきたい。

**道路、歩道、景観について**

**問** 元町井手本線について、進捗状況はどうなっているか。

**市長** 町内での調整を行っている。平成31年度に着工し、平成32年度内の完成を考えている。

**問** 総社駅から東へ延びる総社駅前線、商店街筋、それらに交わる南北道路の歩道、街路樹、街灯の整備はどのよう

なデザインを考えているか。

**市長** 巨木化した街路樹を無くす方向で考えている。木の種類を一本化して植えるかどうか、街灯をどうするかを議論して、中心市街地のデザインを考えていきたい。

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、4月臨時会では議案4件、6月定例会では議案5件であり、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

《4月臨時会》

●平成28年度総社市一般会計補正予算(第1号)(議案第53号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・ふるさと納税の取組拡充による寄附金の増額

**問** ふるさと納税の返礼品について、商工会議所などの議論の経過はどうか。



返礼品が拡充された本市のふるさと納税の紹介パンフレット

**答** 総社商工会議所や総社吉備路商工会も入った審査会で、市のPR及び地域振興につながるものが選定されるよう、しっかり進めていきたい。

委員会行政視察調査

総務生活委員会は、5月17日、18日に栃木県宇都宮市と茨城県古河市を行政視察しました。

○LRTとまちづくりについて(栃木県宇都宮市)

宇都宮市は人口約51万人、中核都市として人口も微増です。市内東部及び隣接する芳賀町の工業団地への通勤による道路渋滞は大変な状況でした。この渋滞を解消するため、平成5年頃から新交通システム導入の研究を立ち上げ、その中で都市交通のマスタープランを策定し、検討してきました。その結果、新交通システムの導入を決定し、LRTを取り入れることになりました。今後、年度内にLRTの工事を始め、平成31年度の開業を目指しています。LRTの利用促進によって渋滞の解消が期待されています。総務生活委員会では、視察内容を今後の吉備線LRT化の調査検討のための参考としていきます。



LRTの視察調査を行う総務生活委員

○ファシリティマネジメント(公共施設管理)について(茨城県古河市)

古河市は、平成17年9月に1市2町で合併し、人口は約14万人です。高度成長期に建設された多くの公共施設について、今後、どのように管理運営をするのが良いのか調査を実施しました。多数の施設を管理運営するために、莫大な維持経費が必要となっています。また、昭和56年以前の建物に関する耐震補強計画や、施設に対する多様なニーズにこたえる方法など多くの課題があります。ファシリティマネジメントを進めるには、国の方針、市の財政計画、施設の数量、受益の負担割合など、多くの事項を調整し、方針を決定することが必要となります。本市でも、今後一層の調査検討が望まれています。

●平成28年度総社市一般会計補正予算(第2号)(議案第54号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・財政調整基金繰入金の増額  
**問** 三菱自工関連企業の支援のための財源を財政調整基金からの繰入れとするのはなぜか。

**答** 三菱自工や関連企業からの寄附を求めているが、現段階で不確定のため財政調整基金からの繰入れとしている。

**問** 来年度に寄附が入った場合の取扱いはどうなるのか。

**答** 来年度に寄附が入ったら、一般財源の取扱いにより財政調整基金に積むことになる。

**問** 三菱自工の不祥事を起因とする支援に市の一般財源を充てることは許されない。確

実に三菱重工からの寄附を依頼し続けて欲しいがどうか。  
**答** 三菱重工からの寄附がなされるよう継続的に求めている。

●平成28年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第59号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・定住促進事業の一部について、平成27年度2月補正による地方創生加速化事業で執行しようとするもの

**問** 移住、定住について、移住してきた人の意見や感想を発信するようなことはできないか。

謹んでお見舞い申し上げます

このたびの平成28年熊本地震により、犠牲になられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。また、被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。一日も早く復興がなされ、皆様の生活が安定されますようお祈り申し上げます。

総社市議会

いか。

**答** 市内に移住してきた人の声をパンフレットに入れて伝えるようにしている。今後は、インターネットを活用して本市の魅力を全国的に発信していく事業も考えたい。

**問** 総社市は災害面で安全だという売りがある。本市の気候や安全面を広報用の動画を作って流すことはできないか。

**答** 動画をホームページに掲載する予定である。災害が少ないということは大らかなメリットなので、積極的に広報していきたい。

文教福祉委員会

《6月定例会》

当委員会で審査した案件は、議案2件であり、全て原案どおり可決しました。

●総社市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について(議案第57号)

家庭的保育事業における保育士の配置要件弾力化のため、厚生労働省令が改正されたことに伴い、関係条文の整備を行おうとするものです。

**問** 条例内の「保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者」とはどのような者か。

**答** 国や県が定めた基準を基に市としての基準を定める。

**問** 保育の質を落とさないことが大切である。市としてはどのように基準を定めるのか。

**答** 保育の質を落とさないということは当然のことだと考えている。国や県が定めた基準は必須として捉え、市としては上乗せも検討し基準を定めたい。

●平成28年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第59号)(所管部分)

**問** 高齢者雇用促進のためのワンストップ相談窓口の事業内容は何か。

**答** ハローワーク、シルバー

人材センター、社会福祉協議会等の関係機関と連携をし、高齢者の就労、創業、生きがい就労、ボランティア等の様々なニーズに対応するマッチング機能を持たせた相談窓口としたい。

**問** 高齢者雇用促進のためのニーズ調査はできているか。

**答** 60歳から70歳までの市民1200人にアンケートを行った。有効回答率は約60%で、結果としては、現在働いている方のうち、「いつまでも働きたい」という人が約60%いた。また、現在働いていない人のうち約30%が「働きたい」という結果であり、就労意欲の高さを感じている。

**問** 高齢者雇用促進のための事業の実施が、一方では、定年後に地域貢献する人材の減少につながるのと懸念を持つ市民もいる。その点はどうか。

**答** 地域貢献を含めた生きがい就労、ボランティアの部分も大切と考えている。関係団

体として社会福祉協議会には、準備の段階から参加して進められているので、連携して進めていきたい。

**問** 高齢者雇用促進事業の対象年齢はどうか。

**答** 対象年齢には、上限を設けない。働ける人はいつまでも働いていただき、地域の支えになってもらいたいと考えている。

**問** B型肝炎の任意接種の費用助成事業は今年度だけか。今後3年ぐらいの継続事業にはならないか。

**答** 今年度の接種実績を基に検討したい。

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、4月臨時会では議案3件、6月定例会では議案4件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は継続審査)

主な内容は次のとおりです。  
《4月臨時会》

●工事請負契約締結の変更に

《6月定例会》

新総社市一般廃棄物最終処分場造成工事において、掘削土の粘土分が想定より多く再利用に適さず、碎石に置き換えることによる工事費を増額するものです。

**問** 適正な設計がなされない不適正な工事はできない。過大、過小設計にならないように注意してほしいがどうか。

**答** 今後とも慎重に対応していきたい。

●平成28年度総社市一般会計補正予算(第2号)(議案第54号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・三菱自社工水島製作所の生産停止により、影響を受けた関連企業等に対し支援を行うための経費

**問** このたびの支援策は、国や県と連携を密にして対応するというが、上京して三菱自工本社へ寄附を依頼するなど三菱自工本社との直接交渉が

一般質問・質疑



●一般質問

一般質問とは、議員が、市長等の執行機関に対し、市の一般事務について、その執行状況及び将来の方針等を、原則として口頭により見解を質すものです。市の行財政全般や、地域での市民生活に密接している事項等について行います。本市議会では、平成22年6月定例会市議会から一問一答方式での一般質問を行っています。なお、質問回数に制限はありませんが、1人40分の範囲内で行います。(答弁の時間を除く)

●質疑

質疑とは、市長が議会に提出した条例や予算などの議案について、その内容や疑問点を聞くことです。質疑では、議員は議案に対する賛否や意見を述べることはできません。なお、本市議会では会議規則により、同一議題についての質疑は3回までとしています。なお、一般質問、質疑のいずれもあらかじめ議長に発言通告書を提出することになります。

多いのではないかと。担当では、国、県と毎日のように連絡を取り合っているが対応している。

**問** 岡山県や倉敷市も支援策を打ち出しているが、本市の支援策の内容は、ほかと比べて厳しすぎるのではないかと。

**答** 公金を充てる以上、ある程度の制限は必要と考える。国や県の役割と本市の支援策の役割を踏まえて、助成制度を提案している。

付要件は国や県に合わせるのか、国や県の助成金と併せて受けられるのか。

●総社市営住宅条例の一部改正について(議案第58号)

・市営天原住宅において8戸を除却することに伴い、管理戸数を改める必要が生じたもの

**問** 市営住宅は、天原住宅に

限らず老朽化している。早急に除却していくべきと考えられるか。

**答** 市営天原住宅の8戸は、近隣に影響があるため除却することにした。他の老朽化した市営住宅も平成26年度に策定した総社市公営住宅等長寿

委員会の動き

- 4月 7日 総務生活委員会(ふるさと納税)
- 4月 7日 議会運営委員会(平成28年2月定例会市議会での一般質問について)
- 4月12日 文教福祉委員会(全国屈指の福祉先駆都市ほか)
- 4月19日 産業建設委員会(岡山ハイブリッドメガ生産団地構想推進事業ほか)
- 4月25日 議会運営委員会(平成28年4月臨時市議会の運営)
- 4月28日、5月16日 産業建設委員会(三菱自工関連企業の支援について)
- 5月20日 文教福祉委員会(旧昭和児童館の施設などについて)
- 5月26日 議会運営委員会(平成28年6月定例会市議会の運営ほか)
- 6月13日 議会運営委員会(平成28年6月定例会市議会の運営ほか)
- 6月15日 産業建設委員会(新総社市一般廃棄物最終処分場建設事業の進捗状況)
- 6月16日 総務生活委員会(岡山中枢都市圏形成ほか)
- 6月24日 全員協議会(議員と市民の意見交換会ほか)

命化計画により対応を検討する。

●平成28年度総社市一般会計  
補正予算(第3号)(議案第59号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・新総社市一般廃棄物最終処分場造成工事、並びに立地適性化計画調査業務委託料の増額

**問** 立地適性化計画調査業務委託料の算出根拠は何か。

**答** 業者からの参考見積りと、他市の委託状況を勘案し計上している。

**問** 立地適性化計画調査業務委託の範囲は、市全体か。

**答** 立地適性化計画は、都市計画区域内についての施策を検討するものだが、都市計画区域外についても立地適性化計画に準ずる街づくりの参考とするため市全体を委託するようにしている。

●平成28年度総社市一般会計  
補正予算(第4号)(議案第60号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・自動車部品製造関連企業支援指定寄附金及び宮筋ものがたり実行委員会負担金

**問** 宮筋ものがたり実行委員会負担金について、文化が中心であった「れとろーど」から、観光費に事業が移ったのはなぜか。

**答** 「れとろーど」は、平成17年に市民文化祭の目玉イベントとして始まり、第10回を区切りとして終了した。今後は、総社宮を中心に商店街振興として行う。

**問** 地域の祭りは、それぞれ

見て、聴いて、ご意見を!



本会議は誰でも傍聴することができます。本会議の傍聴を希望される人は、市役所2階の議場傍聴席入口で傍聴券を受け取って、入場してください。傍聴は先着で、一般席43席、車いす席2席があります。是非、議会の様子を見て、聴いて、ご意見をお寄せください。

なお、年4回の定例会市議会、随時の臨時市議会、各常任委員会の日程は、ホームページなどでもお知らせしています。



議場での傍聴席の様子(写真奥)

自由枠交付金で行っている。「宮筋ものがたり」の位置付けはどうか。

**答** 「宮筋ものがたり」は、商店街を振興するに当たり全国に発信できるようにイベントを目指していることからこのような予算措置をしている。

**問** 総社宮の秋祭りが10月にある。10月の開催は考えなかったのか。

**答** 「れとろーど」は、9月の最後の土、日で浸透していた。今回は同じ日で開催する予定である。今後は総社宮の秋祭りとの合同も考えられる。

議員の資質向上視察や研修に活用

平成27年度政務活動費収支報告公表

政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法及び総社市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき議員個人に支給されます。市政の課題及び市民の意思の把握や意思を市政に反映させるための活動など、議員の調査研究活動に必要な経費として充てることができる経費が決められています。(下表のとおり)

支出は議員の政務活動に関する経費に限られ、政務活動とは関係ない政党活動、選挙活動、後援会活動、私人としてのプライベートな活動のための経費には使えません。また、その管理、支出に当たっては厳正で明確にしています。年度終了後には、1円以上の全ての金額の領収書等

を添えて収支報告を行うこと、残金は返還することが義務付けられています。

(各議員の政務活動費収支報告は次ページに掲載)

交付額及び交付の方法

政務活動費の交付額は、平成27年度まで月額2万5千円でした。平成28年2月定例会で月額1万円を増額する条例が可決され、平成28年度から、月額3万5千円となっています。

1年間の政務活動費は、年度始めにまとめて交付されます。

具体的な活用事例は

平成27年度政務活動費の各議員の具体的な活用事例は次のとおりです。

- ・調査研究費：埼玉県和光市で介護予防事業、地域包括ケ

項目	内容	主な例
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、宿泊費等
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費	講師謝礼、会場費、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費等
広報費	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費	広報紙・報告書等印刷代、会場費、茶菓子代、文書通信費、交通費等
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費	資料印刷代、会場費、茶菓子代、文書通信費、交通費等
要請・陳情活動費	議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費	資料印刷代、文書通信費、交通費、宿泊費等
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費	会場費、資料印刷代、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費等
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	印刷製本費、翻訳代、事務機器購入・リース代等
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	書籍購入費、新聞雑誌購読料、有料データベース利用料等
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費	給料、手当、賃金等
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費	事務所の賃借料、維持管理費、備品、文書通信費、事務機器購入・リース代等

アシSTEMの先進地視察を実施

・研修費：尾道市で開催された「地方議会研究フォーラム」に出席し、議会改革における課題と対応や、人口減少社会における議会の役割と課題や議会基本条例の意義と役割などの研修を受講。大津市での「新人議員のための地方自治

基本コース」に出席し、地方議員と政策法務などについて研修を受講

・広報費：議員活動の報告広報を作成し地域の家庭に配布

・広聴費：公会堂等で、地域住民から、保育所に関する件や障がい者に関する件などの意見を聴取

・資料購入費：「カネよりも

チエとセンスで人を呼び込め」や「地方創生この道しかない？」などの書籍の購入

なお、政務活動費の全額を活用した議員が14人いた一方で、「今までの行政経験、知識を基に議員活動を行っており、政務活動費は申請しない」とする議員もあり、活用の状況は個々の議員で大きな差があります。

### 住民福祉の向上のために

市政をとりまく状況、課題は日々変化しています。今後は更に政務活動費の支出の透明性を高めることはもとより、その活用内容や成果を積極的に公開していくことが求められています。

本市議会では、政務活動費を活用して個々の議員の資質向上に努め、そこで得た市民の意見や情報、知識を一般質問や議案審査にかし、その成果が市政の課題解決、市民の福祉向上につながるよう努めています。

## 平成27年度政務活動費収支報告書集計表

議席番号	議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計
1	萱野 哲也	300,000	54,068	90,940	72,000					25,710	56,000		298,718
2	三宅 啓介	300,000	8,420	232,070	42,120				10,889	12,180			305,679
3	岡崎 亨一	300,000	4,227	238,528						18,520			261,275
4	深見 昌宏	300,000	197,213	247,200						11,763			456,176
5	小川 進一	300,000	12,312	172,000						27,000			211,312
6	高谷 幸男	300,000	6,227	301,820					48,712	25,778			382,537
7	小西 義巳	300,000	57,077	217,540					3,358	46,284			324,259
8	難波 正吾	300,000	4,227	210,540	49,000					50,820	120,000	60,000	494,587
9	小西 利一	300,000	130,072	59,360						22,188			211,620
10	津神謙太郎	300,000							11,664	9,876		19,053	40,593
11	村木 理英	300,000	92,512	103,360						108,372			304,244
12	頓宮美津子	300,000	37,727	375,580						11,400			424,707
13	赤澤 康宏	300,000	52,076	221,767					6,274	30,321			310,438
14	片岡 茂夫	300,000	71,484	217,540						44,508			333,532
15	塩見 禎章	0											0
16	名木田正昭	300,000	52,367	221,767					930	34,189			309,253
17	加藤 保博	300,000	57,737						24,980	28,434		72,000	183,151
18	笠原 武士	300,000	100,182							37,116			137,298
19	根馬 和子	300,000	4,227	217,540	17,720	30,518			28,633	45,093			343,731
20	荒木 勝美	300,000	24,566						48,492	41,427			114,485
21	山口 久子	300,000	119,935						15,409	60,879		112,159	308,382
22	剣持 堅吾	300,000	72,927	148,260						81,654			302,841
23	大熊 公平	300,000	25,742	241,867						104,867			372,476
24	西森 頼夫	300,000			57,067					57,572	120,000	60,000	294,639
	計	6,900,000	1,185,325	3,517,679	237,907	30,518	0	0	199,341	935,951	296,000	323,212	6,725,933

※合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。

## 編集後記

8月にいよいよオリ・オリンピックが開催される。そして、4年後には東京オリンピックが開催される。誰もが、ワクワク感を抱いて観戦することだろう。それは選手が努力を怠らず、スポーツマンシップにのっとっているからにほかならないからだと思う。スポーツマンシップを邪魔する政治家もいる。初心を忘れ、人間たる意味さえも履き違えた姿は見苦しささえ感じる。正々堂々という言葉どおり、誠実で勇氣ある行動をスポーツマンにも政治家にも市民は求めていると思う。さあ！自分への挑戦を開始したい。(岡崎亨一)

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 頓宮美津子
- 委員長 小川 進一
- 委員長 岡崎 亨一
- 委員長 深見 昌宏
- 委員長 高谷 幸男
- 委員長 村木 理英
- 委員 根馬 和子